

松戸市版スクールソーシャルワーカーの活用事業について

1. スクールソーシャルワーク（SSW）とは

SSWは子どもを中心に人と環境の関係性に着目して子どもの最善の利益を目指して支援をする「ソーシャルワーク」を、学校を基盤として行うものです。個々の事例のみならず学校や地域の課題にも取り組みます。2008年に開始した文部科学省スクールソーシャルワーカー活用事業では、SSWを次のように示しています。

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。こうした児童生徒の問題行動等の状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと考えられる。したがって、児童生徒が置かれている様々な環境に着目して働き掛けることができる人材や、学校内あるいは学校の枠を越えて、関係機関等との連携をより一層強化し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図るためのコーディネーター的な存在が、教育現場において求められているところである。

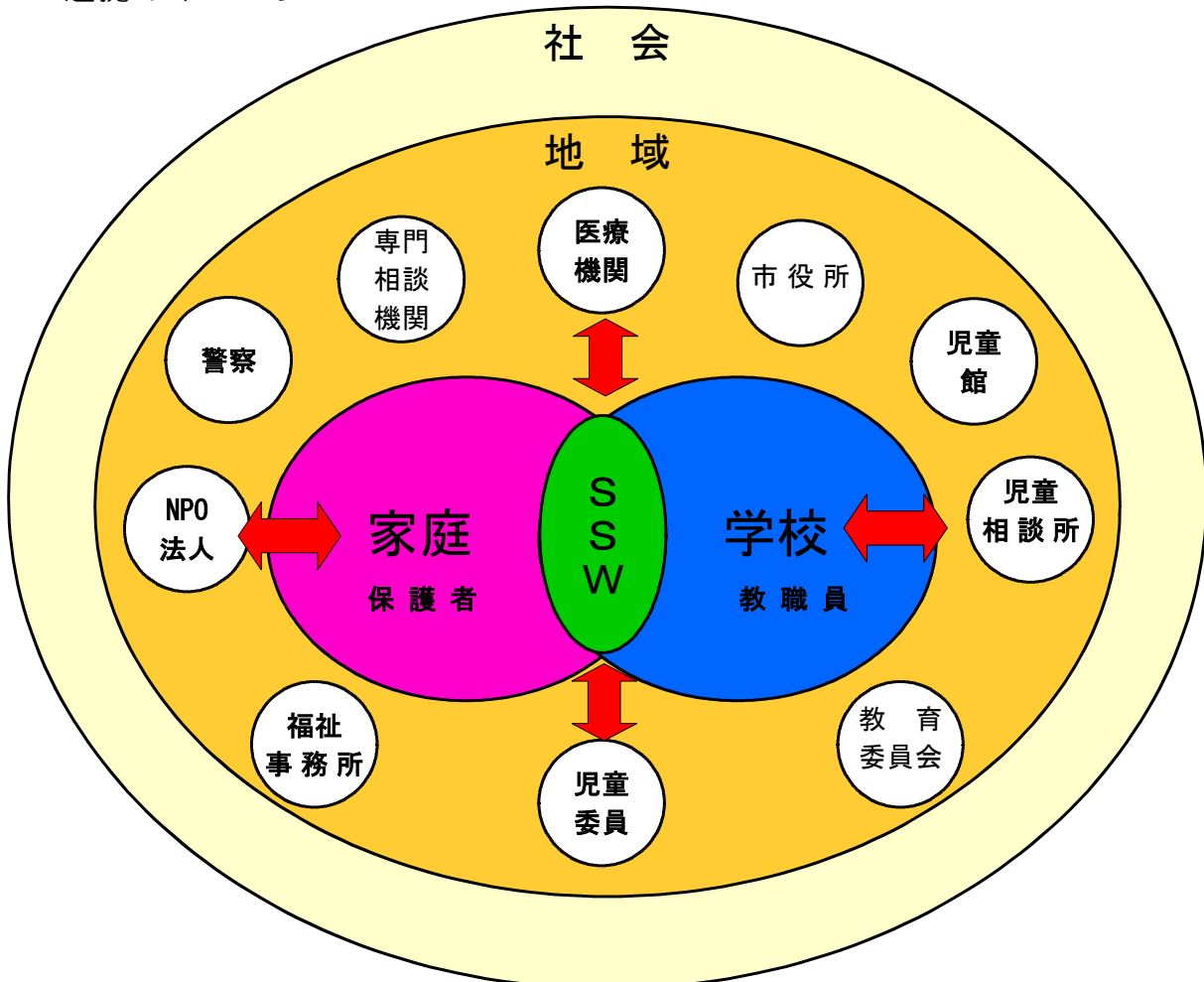
このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図っていくこととする。

出所：文部科学省「スクールソーシャルワーカー活用事業」

2. スクールソーシャルワーカー（SSWer）とは

生徒や保護者などから、毎日の生活の中で起きる困りごとや悩みを聞き、どうすれば解決できるかを一緒に考える福祉の専門職です。課題解決のために、学校や家庭、行政、地域と連携し、チームで解決に向けて取り組みます。

《連携のイメージ》



3. スクールカウンセラー（SC）との違い

スクールソーシャルワーカー（SSW）が人と環境とその関係性に焦点を当てる福祉の専門家であるのに対し、スクールカウンセラー（SC）は個人の内面に焦点を当て、心理面に働きかけて問題解決を図る心理の専門家です。SCとSSWが連携し、心理面での支援を必要とする子どもや保護者を心理面と環境面の両面から支援を行う場合も多くあります。

	スクールカウンセラー (SC)	スクールソーシャルワーカー (SSW)
専門・資格	心理の専門家 臨床心理士等	福祉の専門家 社会福祉士，精神保健福祉士
問題の捉え方	個人の内面（心理）に 焦点を当てる	人と環境とその関係性に 焦点を当てる
対応の分野	治療，予防	介入，予防
援助の方法	主に面接室で話を聞き， 個人の心理面に働きかけて 問題を解決する	校内，家庭，地域，関係機関 に出向いて活動し，問題を解 決する
活動の範囲	ミクロを中心とする	ミクロからメゾ，マクロまで を視野に入れる

出典：子どもにえられるためのスクールソーシャルワーク（学苑社） 監修：山下英三郎 編：日本スクールソーシャルワーク協会

4. 松戸市版スクールソーシャルワーカーについて

松戸市では、近年の子どもを取り巻く様々な問題に早期に対応するため、平成29年度より松戸市独自で「松戸市版スクールソーシャルワーカー」を配置しています。

令和2年度から、既に活動の効果が検証されている拠点校配置型（六実中学校・金ケ作中学校・栗ケ沢中学校を拠点校に、市内小中学校15校を担当）の設置校数増加を目指しながら、派遣型（市内小中学校50校を担当）を併用することにより、拠点校配置型スクールソーシャルワーカー（SSW）の未配置地区の児童生徒、家庭、学校を効果的に支援する形となります。

スクールソーシャルワーカー（SSW）は、お子様や保護者の皆様の毎日の生活の中で起きる困りごとや悩みを聞き、どうすれば解決できるかを一緒に考え、様々なサービスや専門家への橋渡しを行い、「悩みの種（環境）」を整えながら、本人主体の支援を目指しています。いわば、何でも相談できる学校の相談員です。

なお、本校は、教育研究所古ヶ崎分室（旧古ヶ崎南小学校）に拠点を置く派遣型スクールソーシャルワーカー（SSW）の対象校となりますので、相談を希望される場合は、本校までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

松戸市立松飛台第二小学校

電話番号047-385-4111（担当：教頭）

松戸市教育研究所

「松戸市版スクールソーシャルワーク事業報告書」（令和2年3月）等をもとに作成